



# 和小だより

弟子屈町立和琴小学校

1月31日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

## ■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

## 差別・不満と感謝

校長 渥美清孝

子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。本年もよろしくお願ひいたします。

北海道にも、まん延防止等重点措置が適用され、心配が尽きない毎日ですが、子どもたちを元気に学校に通わせてくださる保護者の皆様に感謝しております。

新型コロナウイルス感染症に関わって、日本赤十字は、「三つの感染」という見方を示しています。

①病気 ②不安 ③差別

①はよく分かります。②と③は、「これらを感染と捉えて、対策をする」という考え方は重要だと納得させられます。本来、上記の全てを防ぎたいですが、人として生きている以上、防ぎきれない部分もあります。それでも、私たちはできるだけ感染症対策を行い、防ぐための取組を続けていかねばなりません。

特に③の防止については、単に新型コロナウイルス感染症対策としてだけではなく、徹底して取り組んでいくべき内容です。

作家の三浦綾子さんの言葉に次があります。

「馴れるということは、何と恐ろしいことであろう。馴れることによって、感謝すべきことさえ不満の種になってしまうのだ。」(『愛すること信ずること』より)

ぞんざいな「馴れ」への警告の言葉として、自分を振り返る時に思い出す言葉です。

とてもコロナウイルスに感謝することなどはできませんが、日常の生活の中で、不満を抱かないように生きるためには、学びの多い言葉だと思うのです。

つまり、自分が(馴れのせいで)不満に思っていることの中には、本来、感謝すべきことがあるのではないかと考えてみる必要性に気づかされるのです。

差別の多くは不満から生じます。

人は弱い生き物で、不満から逃れようと、無意識のうち、特定の人や集団を敵とみなすような偏見や差別を持ってしまい、やがては、人や集団を排斥しようとしたり、いわれのない非難の言葉を投げかけたりするようになるのではないのでしょうか。

もしも、不満の種を感謝すべき事柄だったと気づき、自分の心をあらためることができたなら、よりよい生き方に一歩近づくことが出来ます。

子どもたちには、不満よりも、たくさんの感謝の気持ちを持つ経験をさせてあげたいものです。

こんな思いから、始業式では子どもたちに次のように話しました。

「もしかしたら当たり前って思ってしまう、ついつい見逃してしまうようなことに、目を向けて、感謝の気持ちを持てるような過ごし方をして欲しいと思います。」

3学期も子どもたちの「有難う」という声がたくさん聞ける学校であり続けるよう、職員一同頑張っています。

< 2月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	火	安全点検日 食育指導(中・高) ALT(前)	14:20 15:20	○
2	水	全校朝会 スポフェス予備日	14:20	○
3	木	食育指導(低) 図書館バス	14:20 15:20	○
4	金	4時間授業(給食なし)	12:00	×
5	土	週休日		×
6	日	週休日		×
7	月		14:20	○
8	火	ALT(後) 食育指導予備日(中・高)	14:20 15:20	○
9	水	食育指導予備日(低) 4時間授業(給食あり)	13:00	○
10	木	クラブ	14:20 15:20	○
11	金	建国記念の日		×
12	土	週休日		×
13	日	週休日		×
14	月	児童委員会	14:20 15:20	○
15	火	新1年生保護者説明会	14:20 15:20	○
16	水	全校朝会	14:20	○
17	木	児童会全体会議・前期児童会役員選挙	14:20 15:20	○
18	金	ALT(前)	14:20 15:20	○
19	土	週休日		×
20	日	週休日		×
21	月	4時間授業(給食あり)	13:00	○
22	火	ALT(前) クラブ活動報告会	14:20	○
23	水	天皇誕生日		×
24	木		14:20 15:20	○
25	金	ALT(前)	14:20	○
26	土	週休日		×
27	日	週休日		×
28	月		14:20	○

※昨今の状況から予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。

## < 2 学期末保護者アンケート >

2 学期末にお願いした「保護者アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。

### 【保護者アンケート結果】

(A 4 点 B 3 点 C 2 点 D 1 点)

番号		平均点	前回	差
1	学校は、お子さんの学力向上のために、やる気を育てる授業、わかるようになる授業、できるようになる授業を行っている。	3.429	3.29	0.14
2	学校は、保護者と協力しながら、家庭での学習習慣の定着、学習の充実のための取組を行っている。	3.286	3.57	-0.3
3	学校は、「子別の指導計画」を生かしながら、一人一人を大切に学習支援などを行っている。	3.429	3.29	0.14
4	学校は、お子さんの協調性や思いやりを育み、将来の自立・自律につながる取組を行っている。	3.429	3.57	-0.1
5	学校は、体験活動を充実させ、コミュニケーションの力や表現する力を育み、お子さんの社会性を育てる取組を行っている。	3.571	3.43	0.14
6	学校は、お子さんが運動を好きになったり、体力を向上させたりすることにつながる効果的な取組を行っている。	3.571	3.43	0.14
7	学校は、保護者と「育てたい子どもの姿」について理解し合い、一緒に子育てを行っている。	3.571	3.57	0
8	学校は、地域に貢献し、お子さんにとって魅力ある学校になるような取組を行っている。	3.571	3.14	0.43
9	学校は、「いじめは絶対に許されない」という考え方で、いじめが起りにくい環境づくりを行い、いじめの早期発見・早期解決に向けた取組を行っている。	3.714	3.14	0.57

#### 自由記述欄

・学校と家庭の方針がマッチしていると思っているので、引き続きよろしくお願いします。

・コロナのことや子どもの性格、少人数であること、その他もろもろで、学校でできないこともあるかと思えます。足りない部分は家でやれることもあるので、家でできること、保護者としてできること、教えていただけたらありがたいと思います。「少人数の和小だからできなかった・・・」ではなく、「少人数の和小だからこそできた!!」を増やしていくために。

3 学期は、宿題や自主学習について今一度、見直しを図り、保護者の方々に取り組みを伝えていきます。また、子どもたちの自立、自律に向けて一つ一つの活動に自主性を高めるしかけをしていきます。保護者の方々にも子どもたちの自主性が高まる場面をどんどんお知らせしていきます。アンケートのご協力、温かいご意見等ありがとうございました。

# 1月の和小っ子

## < 3 学期スタート >

1 月 1 7 日 ( 月 ) に児童 7 名が元気に登校し、3 学期がスタートしました。始業式では、児童会副会長の祖父江正雄くんが、冬休みに家の裏山でスノーボードをしたことや 3 学期の学習をていねいにがんばりたいことなどを話しました。短い 3 学期ですが、心身ともに健康に気をつけて、みんなで楽しく過ごしていきましょう。

## < チャレンジ冬休み ( 作品等 ) 発表会 >

1 月 2 0 日 ( 木 ) 2 1 日 ( 金 ) の朝の時間にチャレンジ冬休み発表会を行いました。どの児童も冬休みの時間を使って、すばらしい作品を作りあげていました。発表では、作品への思いが伝わる様子が見られました。また、中学年のタブレットを使った発表も大変わかりやすく良かったです。作品のよさを認める感想、核心をつく質問も見られ、楽しく温かい発表会になりました。



## < 冬のふるさと体験学習 >

1 月 2 9 日 ( 土 ) に冬のふるさと体験学習を保護者の祖父江健一様を講師にお迎えし、行いました。場所は摩周湖展望台駐車場からスタートするコースです。大変天候に恵まれ、遠くの阿寒の山々や斜里岳、眼下には摩周湖も一望でき、風景を見ているだけですがすがしい 1 日になりました。今年は例年に比べて雪が多く、脇道に少しそれては斜面を滑るなど悪戦苦闘する場面も見られましたが楽しく、子どもたちも大満足の活動をする事ができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人数を制限しての活動になりましたが、来年はみんなで活動できるといいです。講師の祖父江健一様、たいへんありがとうございました。

